

主要施策名:(2)生涯学習の充実

事務事業本数:15

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(2)生涯学習の充実	(1)社会教育の推進	221-1	社会教育委員・指導員活動及び研修事業	コミュニティ推進課
			221-2	社会教育団体支援事業	コミュニティ推進課
			221-3	地域学校協働活動推進事業	コミュニティ推進課
			221-4	人権教育啓発推進研修事業	コミュニティ推進課
			221-5	成人式開催事業	コミュニティ推進課
			221-6	高齢者教室開催事業	コミュニティ推進課
			221-7	21歳のつどい開催事業	コミュニティ推進課
			221-8	青少年センター事務局事業	コミュニティ推進課
		(2)公民館の振興	222-1	公民館施設管理・運営事業	コミュニティ推進課
			222-3	生涯学習推進事業	コミュニティ推進課
			222-4	岱明町ホテルの里維持管理事業	コミュニティ推進課
		(3)図書館の振興	223-1	図書館運営事業	コミュニティ推進課
			223-2	子ども読書推進事業	コミュニティ推進課
			223-3	図書館システム事業	コミュニティ推進課
			223-4	図書館施設管理事業	コミュニティ推進課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会教育委員・指導員活動及び研修事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課
			作成者(担当者)	乗富あずさ
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実		
	施策区分	(1)社会教育の推進		
重点 施策 【4】	■ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、市社会教育委員設置条例、市社会教育指導員に関する規則 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 5 目 1 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	教育に関する知識をあらゆる生涯学習に生かしながら、各種事業への協力及び助言が必要とされているとともに、市民の意向を生涯学習事業に反映させるために、社会教育委員からの生涯学習事業への指導・助言をする仕組みづくりが必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、社会教育委員、社会教育指導員
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	生涯学習の各分野についての直接指導及び相談等に社会教育指導員があたり、社会教育事業全般を充実させる。また、各研修会への参加により社会教育に関する知識を深めていただき、会議等において業務への助言を求める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見と研究調査、青少年教育の特定分野に関係するものへの助言と指導を教育委員会が委嘱した12名の社会教育委員に行わせる。 ・社会教育の特定分野の生涯教育及び家庭教育、青少年教育、人権教育、社会体育、社会教育団体、社会教育施設運営(7項目)について直接指導と学習相談に教育委員会が任命した2名の社会教育指導員をあたらせる。
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 社会教育委員活動及び研修事業 ② 社会教育指導員活動事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,941	155	193	217
		【16】 小計	1,941	155	193	217
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,764				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.10	0.10	0.10	0.10
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	548	548	522	542		
合計	2,489	703	715	759		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 社会教育委員活動及び研修事業	委員による教育委員会諮問への意見や調査研究を行う。	会議等参加回数	回	8	3	7	8
② 社会教育指導員活動事業	指導員による特定分野への指導や学習相談等を行う。	放課後子ども教室等参加回数	回	18	18	28	30
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(社会教育委員及び社会教育指導員の活動参加回数)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)					
		44	72	72	0				
		2,489	703	715	759				
		57	10	10	0				
		***	570.00%	(↑)	100.00%	(→)	0.00%	(-)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 社会教育委員活動参加者数	委員として委員会会議や各種事業に参加した延べ人数	人	40	40	40	40
2 社会教育指導員助言等回数	指導員が指導・助言・相談を行った回数	回	20	20	20	21
			20	33	56	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(負担金徴収はできない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	社会教育委員からの助言等は少ないが、委員自体は各種団体において活動をしているので、今後はより一層の情報交換に励む必要がある。※研修等の積極的参加はコロナ禍でできていない。 社会教育指導員については、活動ができています。今後も活動を継続していく。 ※ボランティアのリスト作成や、年間の活動報告書を作成し、情報を共有し活動内容の充実を図っている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	社会教育委員については、研修などを通し、広く意見を求めていく。 社会教育指導員については、事業の周知を行い、活動の範囲を広げる取り組みを行う。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナ禍により社会教育委員会では事業計画及び実施報告の内容を書面で伝達したことにより委員間の知識共有が図られるとともに、社会教育団体等の活動に対する指導・助言を与えることが出来ている。また、豊かな経験を有する社会教育指導員に、高齢者教室及び地域学校協働活動で指導・相談・育成等に当たってもらうことにより、地域の人材を活用した講座の企画立案や学校と地域との連携を加速させることができるなど、社会教育の振興が図られている。	評価責任者 西川慶一郎
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 市子ども会連合会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	1178	126	171	1000
② 市PTA連絡協議会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	870	481	509	600
③ 女性の会助成金交付事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	228	193	1091	300

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(開催事業参加者数)	2276	800	1771	1900
投入コスト合計(千円)	9,069	7,665	6,967	7,391
対象1単位あたりのコスト(千円)	4	10	4	4
コスト評価(対前年比)	***	40.00% (↓)	250.00% (↑)	100.00% (→)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 社会教育推進団体数	社会教育団体の構成団体数	団体	12	12	12	8
2 社会教育団体における事務局自立率	社会教育団体で事務局が自立している数/社会教育団体数	率	80.0	80.0	80.0	80.0
			72.7	72.7	75	
* 成果未達成時の理由		社会教育推進団体(補助金申請団体)のうち、女性の会の申請が減少している。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(団体支援事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	青少年育成市民会議を廃止し、R3年度から女性の会助成金交付事業(補助金)の上限を引き下げている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	社会教育団体は、本市の社会教育活動を推進していくための市民団体であることから、今後も引き続き支援を行う。 人口減少社会において、子ども会の存続、女性の会の支援の方法については検討が必要。 子ども会:合併当時の学区で会を維持しているが、子供の減少、役員の担い手の問題がある。 女性の会:支館単位での活動で、本の読み聞かせなどが多い。支館というエリアでの人員確保は難しいのではないか。エリア拡大の検討が必要ではないか。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナ禍により活動の制限はあったが、市PTA連絡協議会、子ども会連合会、女性の会などの社会教育関係団体は感染対策を講じて出来る活動については工夫して実施している。市では、補助金を交付して主体的な活動への支援を行っているが各団体の活動を維持・発展させていくために、現状の補助金の支出は今後も必要である。	評価責任者 西川慶一郎
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	地域学校協働活動推進事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課		
			作成者(担当者)	東 芽歩		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実				
	施策区分	(1)社会教育の推進				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、熊本県教育・文化等振興補助金交付要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	10	項	5
					目	1
					細目	7

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域社会のつながりや支えあいの希薄化等による地域の教育力の低下や学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指すとともに、地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支えていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市立小中学校21校の児童・生徒と教職員、保護者、地域及び地域住民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	地域と学校の連携・協働体制を構築し目的を共有することで、地域学校協働活動の取り組みが増加し、学校が抱える課題が解消されるとともに、社会に開かれた教育課程が実現する。また、子どもたちが地域に目を向け地域に愛着を感じるようになり、地域も子供たちにかかわることで地域住民の学びにつながる。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H19 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・市内21小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、幅広い地域住民等の参画を得て、学校への各種学習支援を行うことで、教職員負担軽減を図り、児童・生徒と向き合う時間を増やす。また、児童・生徒が地域の実情に応じた社会奉仕活動等を実施することで郷土愛を育む。 ・放課後の空き教室を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を確保し、地域の方々の参画を得て、様々な体験活動や学習活動、交流活動を実施し子どもたちの豊かな人間性を育む。
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 地域学校協働活動推進事業 ② 放課後子供教室推進事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	719	2,021	2,413	4,930
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	340	1,409	1,373	2,540
		【16】 小計	1,059	3,430	3,786	7,470
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.50	0.55	0.45	0.55
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.45	0.45	0.45	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	2,738	3,890	3,084	3,784		
合計	3,797	7,320	6,870	11,254		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 地域学校協働活動推進事業	要望のあった業務に対し、ボランティアを学校へ派遣する。	ボランティア要請種目数	種類	13	122	244	250
② 放課後子供教室推進事業	小学校の空き教室で放課後に地域住民により体験学習を実施する。	放課後子供教室実施校数	校	2	0	1	2
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(支援要請種目数)	13	122	244	250
投入コスト合計(千円)	3,797	7,320	6,870	11,254
対象1単位あたりのコスト(千円)	292	60	28	45
コスト評価(対前年比)	***	486.67% (↑)	214.29% (↑)	62.22% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 教員が児童・生徒と向き合えた時間数	学校側からの支援要請にボランティアが対応した時間	時間	600	3000	3000	3000
			499	2805	3126	
2 放課後子供教室参加児童数	教室に参加した児童の人数	人	20	20	20	20
			19	0	8	
* 成果未達成時の理由	新型コロナウイルス感染症が拡大した時期もあり、計画していたを中止や延期にした学校が多く、地域ボランティアの受け入れや児童生徒の地域貢献ができなかったため。					

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益負担なじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	学校・家庭・地域が連携をしていくために、令和3年10月4日、11日、13日に「地域説明会」を中学校区ごとに開催した。地域学校協働活動推進員や教職員はもちろん、区長会長や支館長、民生委員、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、社会教育委員、PTA、学校運営協議会の代表者を招き、地域学校協働活動についての説明と推進員からの実績報告、各小学校区ごとのグループ協議を行った。この説明会がきっかけで支館とのつながりができたり、参画者が増えたという学校もあった。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	新型コロナウイルス感染症対策として、地域ボランティアと学校がつながる機会が減ってしまった学校もある。ただ、未来を担う子供たちの育成には5者(子供・学校・家庭・地域・行政)の連携が必要不可欠である。コロナ禍でも地域とのつながりを絶やさないため、活動チラシの作成や広報活動、事業報告会等を開催し参画者を増やす。また、定期的に地域学校協働活動推進員や担当教職員と顔を合わせ、現状や課題、今後の方向性について協議をする場を作る。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナ禍であったが感染対策を講じ、各学校や地域の実情に応じた様々な学校支援活動や地域づくりに資する活動を出来ることから実施することができた。活動への理解者・協力者を増やすため、広報活動を充実させる必要がある。また、学校間で取組に差があることから推進員及び担当教職員の会議等で活動が盛んな学校の事例を紹介するなど働き方改革につながること等のメリットのPRや地域連携を加速させるための研修等の充実を図る必要がある。	評価責任者 西川慶一郎
----------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 市人権教育推進協議会事務局庶務事業	協議会へ人権教育研究大会を委託すると共に、事務的支援を行う。	開催回数	回	1	0	1	1
② 市町村人権同和教育協議会事業	協議会主催の研修会に参加する。	参加回数	回	5	2	4	5
③ 人権教育推進啓発事業	人権啓発週間における啓発物を配布する。	啓発活動回数	回	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(人権教育研究大会参加者数)	502	0	200	500
投入コスト合計(千円)	4,925	4,072	4,176	6,398
対象1単位あたりのコスト(千円)	10	0	21	13
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (ー)	0.00% (ー)	161.54% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 市人権教育研究大会開催賛同率	意識調査による参加者の大会開催についての賛同者の割合	%	90	90	90	90
2 市人権教育研究大会参加者数	参加者数	人	500	500	400	500
			502	0	200	
* 成果未達成時の理由		新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催方法を分科会のみ(書面開催)に変更したため。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担が適さない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	「市人権教育研究大会」は、分科会(レポート研)のみを会場を分散し開催する予定であったが急激な新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、書面による開催に変更し開催した。また、人権啓発課と共催で実施した「人権のつどい」についても、コロナ禍のため会場開催からオンラインでの配信に変更したが、中止せず取り組みことで人権啓発活動を推進することができ、いずれの事業も参加者からは好評な意見を多く得た。市町村人権同和教育協議会事業についてもオンラインでの事業実施が主であったが、積極的に参加した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況により、事業実施の有無の判断や、実施方法の見直しが必要となること引き続き考えられる。感染対策を徹底し事業を対面で実施する方法を中心に、書面での実施、録画やオンライン配信の利用など、コロナ禍においても人権啓発活動が滞ることなく推進できる事業実施の方法を検討する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	<p>コロナ禍の中での人権学習会は、「仲良く目標を持って学ぶ」をモットーに参加児童生徒の人権意識の高揚に取り組みことができ、児童生徒の啓発標語・ポスターを募集は、人権教育の推進に寄与している。市人権教育推進研究大会は、一同に会して開催出来ない場合は、オンラインなどの手法も取り入れながら、同和問題をはじめ新たな人権課題も含めた啓発も検討し、出席者が教職員や地域の各種団体の人に限られるため、広く市民が参加できるように周知、啓発が必要である。</p>	評価責任者 西川 慶一郎
-------------------	--	------------------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 成人式開催事業	成人式実行委員会を組織し、成人者の企画運営により式を挙げる。	成人式案内者数	人	637	658	651	650
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(参加者数)	519	0	549	650
投入コスト合計(千円)	2,660	3,044	3,775	3,572
対象1単位あたりのコスト(千円)	5	0	7	5
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (-)	0.00% (-)	140.00% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 成人式参加率	【参加者/案内者数×100】	%	75	76	76	75
			81	0	84	
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市負担事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和3年5月に開催予定だった成人式は、新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にあったため、式典に代えて動画配信及び記念撮影スポットの設置を行った。その後、市内商工業者からの要望もあり、令和4年1月に「21歳のつどい」として開催した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	成年年齢が18歳に引き下げられたが、玉名市では現行のまま20歳で開催することにした。また、実行委員会主催での開催は継続し、式典やアトラクションについて協議・準備を行う。心身ともにたくましい社会人になるよう激励するために現状のまま継続とする。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	令和4年成人式は感染症拡大防止策として、中学校区別の2部制での開催、手指消毒、健康チェックシートの提出、サーモグラフィ体温計を導入しての開催となった。新成人の参加率についてもコロナ禍ではあったが、例年と同程度であった。新成人となったことを自覚してもらい機会を作り、市として晴れの舞台を祝福することで、新成人がふるさと玉名市のまちづくりの重要な担い手となることに寄与している。	評価責任者 西川慶一郎
----------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 高齢者教室事業(中央)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	12	4	10	20
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(高齢者教室・シルバー大学受講者数)	418	95	49	600
投入コスト合計(千円)	1,323	1,282	1,793	1,241
対象1単位あたりのコスト(千円)	3	13	37	2
コスト評価(対前年比)	***	23.08% (↓)	35.14% (↓)	1850.00% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 講座受講者数	年間延べ人数	人	528	528	600	600
2			418	95	96	
* 成果未達成時の理由		コロナ禍において、高齢者教室の開催ができていない。また、高齢者は重症化リスクが高いため、参加を控える傾向にあるため達成できていない。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	コロナ禍において、昨年よりも多く講座を開催することができた。学び続けたいと願う高齢者の生きがいや健康づくりを支援することができた。また、新型コロナウイルス感染症の感染が終息すれば、今まで参加できなかった高齢者の参加が見込まれる。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	高齢者に対し学びの場を提供すること、社会参加の提供をすることは、高齢者の生きがいだけでなく、健康の保持・増進につながる。今後も現状のまま継続していく。令和3年度から高齢者教室(中央)だけの開催となっているため、広く参加を促す。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期・後期各10回中、前期7回、後期3回が実施できなかったため、目標の参加者数は達成できなかった。講座数については、前年度より前期・後期各4回ずつ増やし、研修内容を工夫しながら、新たな受講者の増加を図っている。今後も健康・生きがい・仲間づくりをテーマとした研修内容の充実や事業周知により新たな受講者確保を図る必要がある。	評価責任者 西川慶一郎
----------------------	---	-----------------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 21歳のつどい開催事業	実行委員会を組織し、式を開催する	21歳のつどい案内者数	人			660	
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(当日参加者数)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)					
		0	0	0	83	0			
		0	0	1,926	0				
		0	0	23	0				
		***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	0.00%	(-)	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 21歳のつどい参加者数	参加者/案内者数×100	%			10	
2					13	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市負担事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	前年度開催予定であった行事の代替え行事であり、今後実施する予定はない。早めに行事の設定をすることで参加者増が見込まれるため、再度同じような事がある場合は、早めの決断を行う。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後実施する予定はない。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となった令和3年成人式の代替行事として、21歳成人者を対象者に、旧友たちとの集いの機会を設けるイベント「21歳のつどい」を開催することができた。人生の節目である成人式は、一生に一度の貴重な式典であり小中学校の同級生と再会する機会でもあることから、代替イベントを開催したことにより故郷玉名市への誇りと郷土愛を育ててもらうことができた。	評価責任者 西川慶一郎
-------------------	---	-----------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	青少年センター事務局事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	池田 実央	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 ■ 該当
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(1)社会教育の推進			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市青少年センター規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的業務 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 5 細目 1

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	少年非行は低年齢化、一般化の傾向を示し、凶悪・粗暴な非行が社会に大きな衝撃を与える事件も発生し、増加しており社会問題となっている。そのような中で、地域住民及び関係機関並びに関係団体の協力の下で、地域の安全を確保する活動が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	青少年、青少年教育関係者および団体、市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	警察、学校、地域並びに関係機関等との連携を密にし、非行の早期発見や防止に努め青少年の健全育成を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・市青少年センター事務局としての各種事務(会議開催、関係機関との連絡調整等)を行う。 ・市が委嘱した補導員による街頭での巡回指導等を行う。 ・犯罪や非行のない社会を築こうとする活動である“社会を明るくする運動”を毎年7月の強調月間に実施する。 ・玉名広域補導連絡協議会事務局としての各種事務(定例会や研修会等の開催)を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒ ① 青少年センター事務局事業 ② 社会を明るくする運動事業 ③ 玉名広域補導連絡協議会事務局庶務事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	3,511	1,542	1,571	2,654	2,654
		【16】 小 計	3,511	1,542	1,571	2,654	2,654
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,188					
	職人 員 の 費	職員人工数	0.40	0.40	0.67	0.67	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.45	0.45	0.45		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小 計	2,190	3,068	4,233	4,434			
合 計	5,701	4,610	5,804	7,088			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 青少年センター事務局事業	教育委員会が委嘱した補導員により青少年を健全に育成する。	街頭補導実施回数	回	297	206	124	200
② 社会を明るくする運動事業	広報等の啓発活動を行う。	広報車巡回活動	回	2	0	0	2
③ 玉名広域補導連絡協議会事務局庶務事業	広域的に、青少年に関わる事業に取り組む	会議、研修回数(総会、定例会、一斉補導)	回	9	4	4	10

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(街頭補導実施回数)	383	265	386	260
投入コスト合計(千円)	5,701	4,610	5,804	7,088
対象1単位あたりのコスト(千円)	15	17	15	27
コスト評価(対前年比)	***	88.24% (↓)	113.33% (↑)	55.56% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 市内少年犯罪発生件数	市内における18歳未満の少年少女が犯した犯罪発生件数	件	14	7	1	1
2 玉名警察署管内の検挙・補導件数	玉名警察署が検挙・補導した件数	件	16	9	3	3
			8	1	1	
			10	3	3	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市の事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	玉名市青少年育成市民会議を廃止したことに伴い、社会を明るくする運動の中で、青少年の主張の作文を募集した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	警察等の関係機関との連携を密にし、非行の早期発見や防止に努めるため、定期的に街頭指導を実施するなど、引き続き事業を継続していく。また、青少年の健全育成に対する一般の理解と協力を深めるため、青少年育成市民会議で実施してきた中学生・働く青少年(30歳未満)による「青少年の主張」弁論大会を開催する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルスの感染拡大によるまん延防止措置等によりセンターの補導員活動の実施回数は例年の80%程度となったが、各地区の補導員は駅や交通量の多い場所の定点見守りに切り替え巡回の効果を高めた。玉名市における犯罪発生件数は減少したが少年の補導件数は昨年と同数であった。今後も地域、家庭、学校、関係機関と連携して、青少年の非行防止と安心安全なまちづくりに取り組んでいく必要がある。	評価責任者 西川 慶一郎
----------------------	---	------------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公民館施設管理・運営事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課
			作成者(担当者)	原口 麻里奈
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実		
	施策区分	(2)公民館の振興		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当なし			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、公民館条例、玉名市文化センター条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 5 目 2 細目 5

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	公民館利用者が安心・安全に利用しやすいように、施設の整備や定期的な保守点検を行うなど適切に管理・運営していく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	公民館利用者、中央公民館、岱明町公民館、横島町公民館、天水町公民館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	定期的な施設の維持管理や修繕を行い、利用者が安全で衛生的に利用が出来る場所にするよう努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	老朽化した施設の修繕や、備品の入れ替えを行うなど、維持管理を継続的に推進する。 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【15】 事務事業を構成する細事業(6)本 ⇒ ① 中央公民館(文化センター)施設管理運営業務 ② 岱明町公民館施設管理運営業務 ③ 横島町公民館施設管理運営業務 </div>

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	3,070	2,201	2,055	1,950	0
		その他	309	502	8,342	218	0
		一般財源	46,495	39,459	113,942	41,638	0
		【16】 小 計	49,874	42,162	124,339	43,806	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,639					
	職人 員 の 費	職員人工数	1.85	1.85	1.87	1.87	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.75	0.75	0.75		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小 計	10,131	11,594	10,991	11,472			
合 計	60,005	53,756	135,330	55,278			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 中央公民館(文化センター)施設管理運営業務	施設の維持管理・運営や貸出等を行う。	利用件数	件	1666	1096	1301	1350
② 岱明町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	利用件数	件	1527	1078	1313	675
③ 横島町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	利用件数	件	1358	740	1155	1200

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(公民館利用件数)	5798	3602	4879	4325
投入コスト合計(千円)	60,005	53,756	135,330	55,278
対象1単位あたりのコスト(千円)	10	15	28	13
コスト評価(対前年比)	***	66.67% (↓)	53.57% (↓)	215.38% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 公民館利用率	年間申請件数÷利用可能コマ数(開館日数×3(午前・午後・夜間))	%	23	20	17	22
2 1日の平均利用件数	[(中央利用件数÷開館日数)+(岱明利用件数÷開館日数)+(横島利用件数÷開館日数)+(天水利用件数÷開館日数)]÷4	件	4	4	3	4
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 1.52 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度から引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令に伴い、公民館では臨時休館や新規予約受付の停止、利用者を玉名圏限定自立圏居住者に限定するなどの対応を行った。また、中央では急傾斜地解消工事、岱明では建築が行われていたため、駐車場が縮小した。さらに、横島では、空調工事を行ったため、令和3年10月から令和4年1月まで臨時休館をしていた。新型コロナウイルスの影響だけではなく、工事等も要因となり利用者が減少した。新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは利用件数を大幅に増加させることは困難であるが、コロナ禍でも開館時に安心安全に利用できるよう、令和2年度から継続して管内の消毒の徹底などのソフト面における対策を行った。ハード面においては横島の空調改修工事と天水の浄化槽更新を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和3年度に比べて令和4年度は新型コロナウイルスの影響は減ってきたものの、館内消毒の徹底や研修室の利用は定員の半分に制限するなど、県内のリスクレベルに応じたソフト面における感染防止対策を引き続き行う。岱明においては令和4年10月に施設が新しくなるため、旧施設の利用者が引き続き利用しやすい環境また新規利用者の獲得を目指す。中央においては施設のあり方や大規模改修も決まっていない状況ではあるが、利用者が安心安全に利用できる施設のあり方を検討していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館や新規予約の停止、利用時間や研修室の利用人数の制限を行うとともに、手指消毒、三密回避等の措置を講じて、施設利用や自主事業を実施することが出来た。引き続き、市民が安全で快適に学習できる環境を維持するため、施設管理を適正に行っていく。また、中央公民館については、大規模改修又は建替えを控えていることから、他部署と連携した新たな施設の在り方について、庁内横断的な検討を行う必要がある。	西川 慶一郎

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	生涯学習推進事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	原口 麻里奈	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(2)公民館の振興			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 2 細目 6

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	公民館活動では、公民館が連携し、子どもから高齢者まで市民一人一人が生涯にわたって学習し、自己実現を目指し、潤いのある豊かな人生をおくるため、各種公民館主催講座を開講し学習の機会を提供している。しかし、子どもの数の減少や、高齢者の就業継続、情報化、ライフスタイルの多様化により、講座の受講者数が減少している。これからは、多様化・高度化する利用者の生活課題や学習ニーズを的確に把握し、いつでも誰でも学べる学習機会及び情報の提供を充実させる必要がある。また、主催講座受講生と自主サークル活動参加者の交流を図るよう、発表の場のあり方を検討する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	それぞれの世代の学習ニーズを把握し、生涯にわたって学び続けることができる学習機会の提供の充実を図る。また、公民館利用者は高齢者が多い傾向にあるため、学校の長期休業日を利用して、子どもや親子を対象とした学習講座を実施し、子どもの居場所づくりや親子の触れ合いの場の確保に努めるとともに、新たな受講者と受講者層の拡大を図る。さらに、主催講座受講生と自主サークル活動参加者の交流を図ることにより、受講生同士の交流促進と情報交換を通じ、活動の機会や幅が広がるよう積極的な支援を行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	市民が生涯にわたって学習できるように、多様な学習機会の場として、各種公民館講座を開催する。また、主催講座の成果を発表する機会として、動画と写真の巡回展を行っている。しかし、今後のあり方については検討が必要である。各公民館では、子ども相撲大会、通学合宿など地域の特色ある社会教育事業を実施し、子どもの居場所づくりや学習機会を提供する。また、なかよしの日では、五つのなかよし「家庭・友達・学校・となり近所・地域全体」で喜びを感じられる社会実現のため、コミュニティ推進課の事業を通してなかよしの日の普及啓発を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 ⇒ ① 中央公民館生涯学習事業 ② 岱明町公民館生涯学習事業 ③ 横島町公民館生涯学習事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	11	0	0
		【16】 小計	3,675	1,849	1,779	3,111
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	536				
	職人件費	職員人工数	1.88	2.38	2.35	2.35
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.75	0.75	0.75
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計		10,295	14,496	13,498	14,072	
合計		13,970	16,356	15,277	17,183	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 中央公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	131	68	49	50
② 岱明町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	76	72	77	78
③ 横島町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	70	38	56	60

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
	対象(市民)	66319	65817	65189	64303
投入コスト合計(千円)	13,970	16,356	15,277	17,183	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 講座受講者数の割合	募集定員に対する受講者数の割合	%	100	100	100	100
			88	89	96	
2 動画配信回数	年間の配信数	回	-	-	5	5
			-	13	9	
* 成果未達成時の理由	新型コロナウイルスの影響で受講を見合わせる人が多かったことにより目標を達成できなかった。また、中には講座内容が市民のニーズに合っていないものもあり、地域の実情や個人の学習欲求を反映されていないものもあった。					

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(該当なし) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	<p>令和2年度に引き続き、中央では趣味的な講座を減らし、防災の講座や相続に関する講座など地域課題・行政課題に関する講座を開講した。また、民間企業や大学と連携した講座を開講し、地域のニーズや個人の学習欲求に応じた講座を開講した。</p> <p>また、令和3年度から他の部署と連携し庁内で抱えている地域課題・行政課題を把握を行い、生涯学習へつなげる「社会教育×SDGs推進部会」を設立し、4本の動画作成をすることができた。</p> <p>さらに、令和2年度から引き続き、コロナ禍でも生涯学習を継続して行えるよう動画の配信を行った。</p> <p>岱明では、コロナ禍でありながら主催講座・自主サークルともに盛り上がりを見せ、公民館の特性や地域性を生かした生涯学習が根付いてきた。横島では、空調改修工事のため休館を余儀なくされたため思うように講座を開講できなかった。天水では、親子で参加できる講座を開講し、家庭教育支援にもつながるものとなった。</p> <p>自主サークルの支援は、岱明以外では主催講座が自主へ移行するような講座が開講できておらず、新たに自主サークル立ち上げの支援を行うことはできなかった。</p> <p>フェスティバルにおいては令和2年度から引き続き主催講座の動画や写真を4公民館で巡回する展示会を行った。</p>		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	<p>令和3年度から引き続き各公民館の特性や地域性に合った講座を開講する。また、社会教育×SDGs推進部会をとおして把握できた行政課題・地域課題に関する講座や動画も各課と連携し実施する。</p> <p>また、講座の開講については、コロナ禍でも継続して開講できるよう、定員数の見直しやときには公民館ではなく外での開講も視野に入れて参加しやすい工夫を行う。</p> <p>自主サークルの支援においては、コロナ禍で新たな自主サークル立ち上げが難しいことから現状の自主サークルが継続して活動できるよう支援を行う。</p> <p>フェスティバルにおいては、ありかたを検討する。</p>		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	<p>新型コロナウイルスの影響による公民館活動の制限はあったものの、主催講座については、趣味的な講座のみならず、防災・相続等の地域課題講座を開発各課、大学等の協力を得て、創意工夫しながら開催できた。今後は、公民館講座を通じて地域課題の解決に対して主体的に行動する人材の育成につなげていくとともに、地域で活動する自主活動グループの活性化に向けサークル支援を進めていく必要がある。</p>	評価責任者	西川 慶一郎
--------------	--	-------	--------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 岱明町ホタルの里維持管理業務	施設の点検、修理等を行い、適切に管理を行う。	点検、修理確認回数	回	12	12	12	12
② 岱明町ホタルの里委託業務	ホタルの生育に必要な環境の整備を外部に委託し行う。	環境保全活動日数	日	366	365	365	365
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
	対象(観賞会等参加人数)	1800	2050	2000	2000
投入コスト合計(千円)	1,654	1,509	1,553	1,656	
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1	
コスト評価(対前年比)	***	100.00%	(→)	100.00%	(→)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 成虫したホタルの割合	幼虫から成虫になったホタルの割合	%	25	25	25	25
2 ホタルや環境保全に関心を持つ人数	観賞会・保護活動等に参加した人数	人	2500	2500	2000	2000
			1800	2050	2554	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市の最低限の負担) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	ホタルは水がなければ生育せず、山からの湧水や川の水量の減少や気象状況に左右される。非常時の水の確保に努め、適正管理を継続し、ホタルを通じて環境保全活動を行い、環境学習の場となるよう継続して事業を展開する。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	コロナ禍において、ホタル観賞会が出来ない状態が続いているが、ホタルを通じた環境への関心を持つ方々が多い。現在は自由見学会となっているが、先が見えたときは鑑賞会へ切り替えて、引き続きホタルを通じた環境啓発活動を行う。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	岱明町ホタルの里は、自然環境とホタルを守ろうという地域住民の自発的な保護活動の高まりとともに、市民の憩いの場として親しまれ、市内外から多くの見物客が訪れている名所でもある。自然環境のパロメーターとも言われるホタルの保護育成は単なる環境保護活動にとどめるのではなく、地域住民の生活に影響を及ぼす活動でもあるため、施設維持には、継続的な措置が必要である。	評価責任者 西川 慶一郎
----------------------	---	-----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館運営事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	井上 純奈	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(3)図書館の振興			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 3 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	今日の図書館においては、多様化、高度化する市民の学習ニーズに対応できる図書資料の整備が求められていることから、各図書館の蔵書及びその構成、システム等の専門知識を備えた公共図書館としてサービスを提供する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	図書館利用者、団体、図書館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	窓口サービスを向上させ、利用者ニーズにあった図書資料を計画的に収集することで、蔵書の充実及びインターネット端末利用拡充を図り、より多くの方に利用してもらう。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・窓口業務をととして図書館運営の充実を図る。 ・利用者のニーズにあった図書資料を収集して計画的に蔵書の充実を図る。 ・市民のニーズにあった図書備品の購入。 ・寄付金を活用して図書資料(児童書)の充実を図る。 ・図書館の利用拡大及び読書推進を図るための運営や管理を行うために、協議会に対し諮問する。
	【15】 事務事業を構成する細事業(6)本 ⇒ ① 図書館窓口業務 ② 図書館資料整備事業 ③ 図書備品事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	64,623	79,683	77,764	77,682
		【16】 小計	64,623	79,683	77,764	77,682
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.30	0.30	0.45	0.45
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.15	0.15	0.15	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	1,643	1,936	2,595	2,706		
合計	66,266	81,619	80,359	80,388		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 図書館窓口業務	委託業者により貸出・返却などの窓口業務を行う。	図書館(4館)の平均開館日数	日	265	227	258	250
② 図書館資料整備事業	収集方針に基づき購入図書を選定や発注を行う。	年間購入冊数	冊	13460	13108	13654	13407
③ 図書備品事業	市民のニーズを踏まえた本や視聴覚資料の購入を行う。	年間購入資料数	点	63	30	28	40

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(図書館利用者)	89785	50659	59335	66593
投入コスト合計(千円)	66,266	81,619	80,359	80,388
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	2	1	1
コスト評価(対前年比)	***	50.00% (↓)	200.00% (↑)	100.00% (→)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 人口一人当たり図書貸出冊数	人口一人当たりの図書貸出冊数	冊	5.6	5.2	4.5	5
			5.1	3.8	4.4	
2 利用者一人当たり図書貸出冊数	利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	4	4	5	5
			3.7	4.9	4.8	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館や、コロナ禍で来館を控える市民も多く来館者数は戻っていない。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	各館(4館)とも計画的に購入を進めている。現在は書棚が空いている館もあるが、今後年数経過とともに埋めていく予定である。昨年度に続き、本の種類や冊数を増やしていく必要がある。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【27】	今後も利用者の目線に立ち本を選書したり、蔵書冊数を増やし利用者を飽きさせない工夫をしながら、利用者増加に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナウイルス感染拡大により4月23日から6月23日まで臨時休館となったが、年間の利用者数については、前年度比では回復した。本館・分館の特色を活かした図書館サービスの取り組みにより、利用者にとって利用しやすい環境を整え、利用者数の増加を図る必要がある。また、7月1日に運用開始した「たまな圏域電子図書館」のコンテンツ充実させることにより、高齢者や仕事等で来館できない人へのサービス向上を図っていく。	評価責任者 西川慶一郎
----------------------	---	--------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	子ども読書推進事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課
			作成者(担当者)	井上 純奈
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実		
	施策区分	(3)図書館の振興		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例、子どもの読書活動の推進に関する法律 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市子ども読書活動推進計画(第二次) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 3 細目 3			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	現在こどもの生活環境はテレビやゲーム、携帯電話、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及により情報が氾濫する中正しい判断能力が必要とされる。さらに幼児期からの読書週間の未形成により読書離れが進行し、その影響が懸念される。国は「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布するなど、すべての子どもがいつでも、どこでも読書ができる環境づくりに取組む事とされている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	乳幼児、小学生、中学生、高校生
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	図書館への関心を深めるとともに、子どもが読書に親しむ機会を提供し読書環境の充実に努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・子どもが読書に親しめるように家庭、学校、関係機関等と連携・協力して読書に親しむ機会を提供する。 ・図書館から離れた保育所(園)・幼稚園・小学校を移動図書館車で巡回して貸出を行い読書に親しんでもらう。 ・ボランティアの協力で赤ちゃんと保護者にブックスタートパックを紹介し絵本を配布する。 ・各図書館でボランティアグループによるおはなし会を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ⇒ ① 子ども読書活動推進事業 ② 移動図書館車事業 ③ ブックスタート事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,333	1,376	1,077	1,358
		【16】 小計	1,333	1,376	1,077	1,358
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.40	0.40	0.55	0.55
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.15	0.16	0.16	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	2,190	2,483	3,134	3,266		
合計	3,523	3,859	4,211	4,624		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 子ども読書活動推進事業	童話発表大会・読書感想文等の読書に親しむ機会を提供する。	子ども読書活動行事実施回数	回	8	4	3	5
② 移動図書館車事業	移動図書館車で市内の保育所、小学校等を巡回する。	巡回回数	回	388	250	325	321
③ ブックスタート事業	乳幼児4ヶ月健診での読み聞かせと絵本を配布する。	絵本配布数	冊	878	664	570	704

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(図書館利用者)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)					
		89785	0	50659	0	59335	0	66593	0
		3,523	***	3,859	0.00%	4,211	0.00%	4,624	0.00%
					(-)		(-)		(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 高校生以下図書カード登録者数	高校生以下の図書カード登録者数	人	350	310	250	500
2 高校生以下利用者一人当たり図書貸出冊数	高校生以下の利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	3.5	3.5	5	8
			3.3	8.4	7.6	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部イベントの中止を余儀なくされたが、読書感想文コンクールや本を読んで五・七・五募集など、子ども達が本に触れる機会を提供できるよう努めた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和4年度は「図書館を使った調べる学習コンクール」など新しい事業を始めたり、昨年一昨年と実施できていなかった「一日図書館員」や「図書館まつり」などを通して、読書に親しむ機会を提供していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	<p>子どもの「読書離れ」が指摘される中、市図書館、保育園、学校、読書ボランティアとさらなる連携強化を図り、お話し会や移動図書館事業、図書館まつりなど様々な機会における取り組み、継続した事業展開が重要である。また、ブックスタート事業は、絵本を通じて親子のコミュニケーションを深め、子どもの豊かな人間性を育むことが出来ることから、0歳児にブックスタートパックの配付を行うとともに、ボランティアによる絵本の読み聞かせや図書館の絵本の紹介など、絵本との出会いの場を提供することで、親子で絵本に親しむ機会を増やしていく必要がある。</p>	評価責任者 西川慶一郎
-------------------	---	---------------------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 図書館システム(ソフトウェア)運用事業	クラウドサービスの利用により貸出管理、蔵書管理、レファレンス等の業務を行う。	図書館の(4館)の蔵書冊数	冊	266600	260648	269173	270000
② 図書目録作成事業	図書館システムのデータベースに図書目録を作成する。	図書目録冊数	冊	5524	4518	3989	4500
③ 図書館オンラインポータルサイト(TOOLi)使用事業	「tooLi」を用いて発注し、図書のデータを登録、管理する。	図書登録冊数	冊	10724	10361	11282	11500

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(図書館利用者)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算					
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)			
		89785	0	***	50659	0	0.00%	59335	0	0.00%	66593	0	0.00%
		5,465	0	***	5,082	0	0.00%	25,911	0	0.00%	12,749	0	0.00%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 図書館(4館)貸出冊数	貸出延べ冊数	冊	380000	350000	250000	300000
			336673	249356	282922	
2 図書購入メールリクエスト及び貸出ネット予約合計件数	図書購入メールリクエスト及び貸出ネット予約が行われた合計件数	件	1500	1600	2000	5000
			1627	5505	8647	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(図書館事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	図書館システム更新については、予定が少しずれたが無事に更新作業を終えることができた。作業に伴う休館等も事前にホームページや貼り紙などで周知していたため、特に問い合わせなどはなかった。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も継続して図書館システムの活用を図っていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナ禍による5月の臨時休館時には、Web予約により本の貸出を行うとともに、7月に「たまたな圏域電子図書館」を運用開始したことにより、コロナ禍による外出抑制や図書館の休館時においても24時間図書館サービスを継続し、高齢者等来館が難しい人へのサービスを拡充することができた。今後も電子図書のコンテンツを充実させ、地域における情報の拠点として市民生活に役立つ施設整備に努めていく必要がある。	評価責任者 西川慶一郎
----------------------	---	--------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館施設管理事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課	
			作成者(担当者)	井上 純奈	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(2)生涯学習の充実			
	施策区分	(3)図書館の振興			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的業務 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 3 細目 5

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各図書館は建設後年数が経過し老朽化が進行していることから、利用上の安全性の確保や、効率的な施設管理が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	図書館利用者、団体、図書館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	利用者に対して安全で快適な図書館を提供するために施設の維持管理を適切に行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	・施設の定期点検(消防設備点検、警備保障点検、浄化槽清掃維持管理等)を行い、図書館が安心・安全に利用できるよう維持管理を行う。 ・利用者に配慮し、安全で快適な利用環境を確保するため修繕等行う。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① 図書館施設維持管理事業 ② 図書館施設修繕事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	820	0	0	11
		一般財源	5,262	20,929	5,117	4,724
		【16】 小 計	6,082	20,929	5,117	4,735
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.30	0.30	0.55	0.55
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.14	0.15	0.15	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小 計	1,643	1,916	3,118	3,248		
合 計		7,725	22,845	8,235	7,983	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 図書館施設維持管理事業	委託業者により施設の各整備を定期的に点検する。	設備点検委託件数	件	4	4	4	4
② 図書館施設修繕事業	施設や設備の修繕を行い、安全で快適な利用環境を確保する。	修繕件数	件	11	14	7	10
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(図書館利用者)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画	
		89785	0	50659	0	59335	0	66593	0
		7,725	***	22,845	0.00%	8,235	0.00%	7,983	(-)
		0		0	(-)	0	(-)	0	(-)
		***		0.00%	(-)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 図書館利用者数	図書館利用者(4館)の延べ人数	人	98000	94000	60000	60000
			89785	50659	59335	
2						

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館や、コロナ禍で来館を控える市民も多いく来館者数は戻っていない。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	経年劣化等により、随時修繕等を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も利用者が安心して図書館を利用できるよう施設の維持管理に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	市民図書館は施設・設備が老朽化しており、修繕等の現状維持の管理が中心となっており、今後も維持管理費の増加は避けられない。施設の大規模改修または建替えを控えていることから関係部署と連携した新たな施設の在り方について検討していく必要がある。図書館利用者が安全で快適に利用できる環境を保持していくために必要な事業であり、今後も継続して施設の維持管理に努めていく。	評価責任者
		西川慶一郎